

作業内容

(1/2)

1

自然調査活動体験会

体験会に7名の方が参加されました。

こんぶくろ池の概要、自然の豊かさ、保全の重要性などの説明後、保全活動に参加して貰いました。



現地で、ナラ枯れ、落葉広葉樹(コナラ、クヌギ、イヌシデなど)の育成などについて説明。

○ コナラ実生の保護区



保護区エリア



番号杭を明示

コナラの実生は見かけますが、幼木まで育った木は余り見かけません。

このエリアに20本弱の実生が育っているので、1本ごとに成長過程を観察するため、番号を付けた杭の設置を手伝って貰いました。

○ アオキの引抜き



作業中



作業後(後で集積します)

中央9エリアにはアオキが群生し、生態系を壊しているので、アオキの引抜き作業を体験して貰いました。

○ コナラ等の育成



コナラの実生



発芽中のどんぐり



どんぐりを植えています



実生をポットに植えています



去年のポット

現地の実生は根が張っているので移植するのは最適な方法ではありませんが育ってくれることを願っています。

プランターにどんぐりをたくさん植えて、翌年の春にポット(黒いビニール製の苗木用鉢)に植え替える方法が推奨されています。

○ この種は何に見えるでしょうか



カラスウリの種

大黒様が持つ打ち出の小槌に似ているので、お財布に入れておくとお金がたまると言われてい



カラスウリの花

7～8月ごろの夕方7時前から咲き始め朝方には萎んでしま



カラスウリの実

8月下旬頃にはスイカのような文様の実になります。



カラスウリの実

9～10月に朱色に熟れます。
お味の方は？

2

イボタノキの移植



イボタノキ(2021年5月撮影)

当園のシンボルツリーであるイボタノキの新芽を期待していましたが、枯れていることを確認しました。

来春にでも、同じ場所にイボタノキを移植しようと考えています。
本日は、移植候補のイボタノキを何本か選定しました。